

再循環ポンプ

再循環ポンプ さいじゅんかんぽんぷ

沸騰水型軽水炉（BWR）はもともと原子炉冷却材の自然循環で出力運転が可能であるが、出力と安定性を増大させるために原子炉冷却材の強制循環方式を採用した。この強制循環を司るのが再循環ポンプである。炉心内の原子炉冷却材の循環だけでなく、気水分離器で分離した再循環水も吸引合流させる役目を果たしている。気水分離器から蒸気系へ送り出した分だけ給水系から再循環系へ水の補給を受ける。

<登録年月>

1998年01月
